

# まつお新聞

発行所 飯田市松尾公民館  
編集人 松尾公民館広報委員会  
印刷：龍共印刷株式会社

## 物語の世界に引き込まれる ひと時を親子で いいだ人形劇フェスタ2025



### サイエンスで暑さ吹っ飛ばせ！ 出張サイエンス

連日35度を超える猛暑日が続く7月29日、松ほっくりで松尾児童クラブお楽しみサイエンススクールが行われ、約140人が参加した。今回は身近なものを使ってクレイニングゲームを作った。

直径15センチほどの丸型のプラスチックの透明の容器のふたにストロー2本と、蛇腹のストロー1本を短く切ってセロハンテープで貼



できたー!!

調整し直したり、容器の外側に好きな絵を描いたりする子供もいて、個性豊かな工夫が見られた。

## めざましい活躍! 全国大会出場者

**飯田風越高等学校自転車部**  
平澤 慧さん(代田区)  
長野県高等学校総合体育大会 自転車競技大会  
トラック競技ケイリン 準優勝



**松尾公民館柔道クラブ**  
竹内瑛吉郎さん(清水区)  
長野県 中学校総合体育大会 夏季大会  
個人戦 男子60級級 優勝



**MSJAC(南信州ジュニアアスリートクラブ)**  
安藤 凜さん(水城区)  
全日本中学校 陸上競技選手権大会  
女子走幅跳決勝 準優勝



松尾地区文化体育振興会では、地区住民の方が予選大会を突破して県大会以上の規模の大会へ出場する際には、激励金を交付しています。申請方法については、松尾公民館へお問い合わせください。

今年のテーマは「もっとわくわく」。みる・演じる・ささえる、それぞれの立場でフェスタに参加する一人ひとりが、これまで以上に楽しみ、感動し、心が躍る4日間を共につくろうという願いが込められた人形劇フェスタが、8月7日から10日に行われた。松尾地区公演は、今年も松尾公民館をはじめ、地区内6会場7公演が行われた。

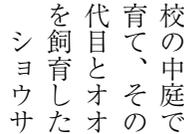
### 寺西蓮さん 「天清蓮大」に!

今春、大相撲玉ノ井部屋へ入門した、松尾相撲クラブ出身の寺西蓮さんが、7月の名古屋場所から「天清蓮大」という四股名を授けられ改名した。父親の仕事関係の「天」と恩師の清水里香さんの「清」を組み合わせた四股名となった。この秋場所では西序二段九十二枚目で土俵に上がった。



親方、恩師と一緒に

**ショウサンプロジェクト始動!**  
7月17日松尾公民館で、第1回ショウサンプロジェクト会議が行われた。「ショウサン」とは、令和4年度に松尾小学校開校150周年事業のイメージキャラクターとして、当時6年生の児童が、オオサンショウウオをモチーフに作製したものの。オオサンショウウオと松尾小学校との歴史



ショウサンを松尾の人気者に!

史は古く、大正7年に松尾尋常小学校旅行隊が三重県二見浦から持ち帰り、小学校の中庭で30年余り大切に育て、その後も2代目、3代目とオオサンショウウオを飼育した。ショウサンを松尾公民館の公式キャラクターにしようとしたのが、このプロジェクト。会議にはボランティアの中高生4人を含む、17人が参加した。公式キャラクターとして展開していくには何をすべきか、どうすればいいのかの意見とアイデアが多く出された。鎌倉豊公民館長は「松尾といえはショウサン、市で就職し家庭を持ち生活をしている。高齢であり、なかなか飯田に帰ってくる事ができなかったが、今回の新盆を機に久しぶりの帰郷となった。お茶の席で天ぷらまんじゅうが出されると叔父は懐かしいと喜んで食べ、その娘はまんじゅうを天ぷらにして食べることにびっくりしていた▼話を聞くと数十年ぶりに食べたとのこと。住んでいる所には天ぷらまんじゅうという食べ物はなく、いつか飯田に帰ったら食べようと思っていたそう。初めて見た叔父の娘は軽いカルチャーショックを受けていたが「食べてみると美味しい」と言いながら食べていた▼まんじゅうを天ぷらにして食べることは当たり前のことと思っていたが他県から来た人には斬新な食べ物であり、帰郷した人には懐かしい食べ物である。その場所では味わうことができないもの、その時期でしか味わうことができないもの、私たちが住んでいる食文化を改めて感じる事ができたお盆であった。

## 松風

お盆に天ぷらを食べるのは長野県特有の文化であり、特に天ぷらまんじゅうは南信ではよく食べられているらしい。今年

松尾の人口
男子 6,068 人
女子 6,575 人
計 12,643 人
世帯数 5,439 世帯
8月末現在

### 城區 6年ぶり開催 サマーフェスティバル

7月20日、城集会所で分館主催のサマーフェスティバルが開催され、多くの区民が集まり夏祭りを楽しんだ。

前年まではコロナ禍で密を防ぐため規模を縮小して行っていたが、今年は炎天下の中、屋外では、小学校PTAが用意したかき氷、ポップコーン、水ヨーヨー、射的等に子供たちが集まり、壮年会は焼き鳥、昭和会は焼きそばとフランクフルトを作って、来場者に振る舞った。

室内では文化教養講座が開かれ、野菜ソムリエと、シードルのポム・ド・リエゾンの資格を持つ殿倉由紀子さんを講師に迎え「知っ



美味しい～ おかわりある？

て、飲んで、地域をもっと好きになる！南信州シードルのひみつ」という講座が開かれた。りんごジュースとシードルの試飲では、普段あまり飲まないシードルに多くの人たちがおかわりをするほど人気があった。木下雅夫区長は「これでやっといつものサマーフェスティバルに戻ることができた。来年はもっと盛り上がるように楽しい企画を考えたい」と話していた。

### 代田区

## 弾ける笑顔！飛び散るスイカ！

7月27日、代田コミュニティセンターで代田区夏祭りが、小学校PTAによるお楽しみ会と共に開催された。

気温34度の真夏日の中、訪れた人たちは無料で振る舞われたかき氷で涼をとり、フランクフルト、焼きそば、焼き鳥など屋台を楽しみながら交流を深めていた。

室内ではPTA主催の射的、輪投げ、ストラックアウト、水ヨーヨー釣りが行われ、多くの小学生が歓声をあげて楽しんでいた。

祭りの中盤には輝悠会による踊り、小学生のスイカ割りが行われた。スイカ割りでは目隠しをした子供たちが周りの声を頼りに思いつきり木の棒を振り下ろした。笑いと拍手のあふれる和気あいあいとした空気が会場を包み、切り分けられたスイカを頬張る子



みんなで食べるスイカはおいしいね

供たちの満足そうな笑顔が見られた。

夏祭りの企画を担当した吉澤庸成産業部長は「皆様のおかげで盛大に開催することができた。地域の皆様にとって楽しい思い出の一つとなれば幸いです」と話した。

### 明区 賑わいで暑さを吹き飛ばす

明区の納涼夏祭りが8月3日、明公園を会場に開催され、地域住民が多数訪れて賑わいをみせた。

会場には焼きそばやフランクフルト、五平餅、かき氷などを販売する両壁亭の模擬店が並び、多くの来場者で賑わった。特に焼きそばは、開店と同時に行列ができ、早い段階で売り切れとなる人気だった。

子供たちに人気だったのがアトラクションだ。水ヨーヨー釣りやストラックアウト、ビンゴ大会が行われたほか、伊那谷芸人のさっちゃん、初登場の地



ビンゴ当たるかな？

域戦隊カツセイカマンが会場を盛り上げ、多くの歓声があがった。実行委員長の小林幸雄分館長は「準備段階から多くの方にご協力いただき、感謝している。予想を上回る多くの来場者に恵まれ、模擬店も早い段階で売り切れるなど大盛況で終えられ、嬉しく思う」と語った。

### 上溝区 真夏のイベント

8月15日、上溝集会所で納涼祭が開催され、区民や里帰り中の家族など約200人が参加した。

16時の伊藤博隆区長の開会あいさつの後、夜店が開かれた。

壮年会の焼きそばやからあげ、フランクフルトにフライドポテト、神輿会の牛串、農家組合の五平餅、実年会の焼き鳥、小学校PTAのかき氷と射的、中健会のチョコバナナが出店され、買い求める人々で賑わっていた。

17時からは小笠原栄司スポーツ部長の司会でイベントが開催され、お菓子詰め放題や



りんごん踊るよ！

ラムネ早飲み競争、じゃんけん大会、盆踊り、子供花火大会を行った。

19時からは大抽選会が行われ、当選者には豪華賞品が贈られた。

松田成雄分館長は「天気心配だったが、良い天気で皆さん楽しんでくれて良かった」と語った。

## 笑顔が飛び交う！「夏のお楽しみ会」

8月2日に松尾図書館主催の「夏のお楽しみ会」が松尾公民館2階講座室で開催され、子供と保護者約25人が参加した。ボランティアとして緑ヶ丘中学校の生徒3人も協力した。

子供たちは、絵本の読み聞かせと紙芝居に引き込まれていた。その後、ポリ袋を使ってロケット製作を行った。館員の指導のもと、大人たちの助けも借りながら完成。的当てや飛距離、滞空時間を競い合い、元気に飛び回った。最後は部屋の端から一斉にロケットを飛ばすと会場は歓声に包まれた。



誰のが一番飛ぶかな？

### 久井区

## 笑顔で元気だった？

8月16日、久井公園で納涼祭が行われた。出店などの作業が忙しく、話をする暇がないとの反省から、外部から3人の調理人を招き、区民同志の親睦を図った。



花火きれいだね！

また、体育部の主催でモルツクの体験も行われた。夕方からのお祭りではお囃子披露をした後に、昔の映像を見ながら久盛音頭を踊り、竜映

小唄、飯田りんごん等の踊りも楽しんだ。各種団体による射的コーナー、水ヨーヨー釣り、水鉄砲コーナーも大賑わい。出店も五平餅、焼き鳥、焼きそば、カットステーキ、かき氷、炭火焼焼肉があり、人気メニューの前には長蛇の列が出来ていた。また花火大会、ビンゴ大会も行われた。

テント下に設置した椅子席では、大勢の区民がイベントや親しい人と会話を楽しみ、親睦を深めていた。

木下浩一文化部長は「天気が良かったし何年振りかの盆踊りができ、これが続けられれば嬉しい」と話した。

### 常盤台区

## 盛大に納涼祭

8月2日、分館主催の常盤台区納涼祭が常盤台集会所で行われた。

うだる様な暑さの中、15時からテント張りや屋台の準備を行った。

後藤勉分館長の開催宣言の後、常盤太鼓と子供太鼓によるオープニングセレモニーが行われた。勇ましい演奏が盛り

上がった。

屋台はかき氷、焼きそば、フランクフルトなどの店に人だかりができ、終了時間前に全て売り切れとなる盛況ぶりをみせた。最後のお楽しみとなる富くじ抽選会では、抽選箱からくじを引く分館長の手元に熱い視線が集まり、見事当たっ

### 子

が参加した。実際に企画・実行した高校生が



新井区

癒しの時間をお届け

新井区納涼祭が8月15日、新井コミュニティ消防センターで開催された。

代田稔区長は開会式で「今年も皆さんの協力で開催できました。いっぱい楽しんでください」とあいさつした。時間とともに、若者や、帰省した家族連れ、区民などで賑やかになった。

屋外会場は、飲み物のほか、ポップコーン、かき氷、フランクフルトに焼きそば、前日から煮込んだおたくりなどの屋台が並び、ボールすくい、アートバルーン、ガチャガチャなども企画され、縁日さながらの雰囲気となった。

エアコンの効いた屋内は、カラオケ大会と飲食ができる団らんスペースとなった。カラオケ大会では、本格的な舞台装置で自慢の曲を披露した。その歌声は屋外会場にも流され、BGMと間違えられるほどだった。暗くなった頃には、分館役員による

花火も上がった。

お楽しみのビンゴ大会では、今年も目玉として用意された、ヘラクレスオオカブトとニジイロクワガタを田原瑠夏くん(5才)と倉地松利くん(4才)が見事に引き当てて、満面の笑みを見せていた。

吉川和夫分館長は「今日は天気にも恵まれ多くの方に楽しんでいただけだと思います。来ていただいた区民の皆様や、協力いただいたスタッフに感謝しています」と納涼祭の成功を振り返った。



うまくすくえたかな

清水区夏祭り

清水区

8月10日に清水コミュニティ消防センターで夏祭りが行われた。昨年より、いいだ人形劇フェスタ清水公演後の午後、夏祭りを開催している。区、小学校PTAが企画、女性部長、シニアクラブ、実年会、壮年会、中学生ボランティア協力のもと区民が楽しめるイベントとなった。



重さ当てちゃった

夏日とは打って変わり気温25.4度、あいにくの雨となり室内ではあったが区民300人余りが楽しいひと時を過ごした。

1階では恒例のフランクフルトや飲み物、お菓子、サンドイッチ、とうもろこし、ポップコーン、オードブル盛り合わせ、お酒、かき氷などが振る舞われた。2階では、モルック、ポッチャ体験会、射的ゲームを行い、子供も大人も楽しみ、会場は笑顔であふれていた。

夕方になると、メインイベントの区内の自家菜園野菜や果物、花火が籠に入った景品の重さを当てる『おもしろ重さクイズ』を行った。子供が籠の重さを当て景品を貰い喜んでる姿を、周りの大人たちも微笑んで見ていた。最後は恒例の大抽選会で最高潮の盛り上がりを見せ、区長と参加区民の万歳で締めくくられた。

恒例夏祭り盛大に開催

寺所区

8月10日、寺所区恒例行事の夏祭りが開催された。心配された天気も開始時には雨が上がり、多くの住民で賑わった。午後6時の開始とともに多くの人が来場し、獅子囃子の演奏を合図に始まった。会場では、焼きそば、焼き鳥、焼きトウモロコシといった屋台が並び、子供から大人まで、お祭りグルメを楽しんでいた。



きらきらの瞬間

室内ではギターの生演奏があり、祭りに華を添えた。辺りが暗くなると、寺所公園で小学校PTAによるスイカ割り、花火大会が開催され、子供たちは

自分たちで割ったスイカを頬張りながら、ナイヤガラの花火が夜空を彩るのを観賞した。地域の一体感が感じられるお祭りとなった。実行責任者である松島基喜分館長は「今年も、雨予報で雨が降ることを前提に準備してきたが、結果的に雨が降らず、多くの方々に楽しんでいただけて嬉しい」と語った。

2025 夏の日のスケッチ

高校生まつお応援隊

8月19日、松尾公民館でまつお応援隊の発足会議が行われ、地元の高校生10人まつお応援隊は、高校生が主体となって地域の中でやってみたいことを話し合い実践することで松尾地区を盛り上げていく取り組み。公民館からの呼びかけに応じ、小・中学校時代の同級生に声をかけてメンバーを募った。

焼肉を囲みながら久々の再会を懐かしんだ後、今年度の活動に向けた作戦会議が行われた。参加者からは「子供に楽しんでもらえる内容がいいよね」「スポーツ系なら自分たちも楽しめるんじゃない?」といった意見が交わされ、様々な事業アイデアが出された。

会議は夏休み終盤の夕方から始まり、話しが盛り上がるうちに周囲はすっかり暗くなるほどだった。高校生たちの活動が、今後地区内でどのように展開されるのか、期待が高まる。



水城区

納涼祭、今年も大盛況!

水城区納涼祭が、8月2日水城区コミュニティ消防センターで開催された。台風の影響は回避されたが、雷雲が迫り時折雨が降るあいにくの空模様の中、開始となった。

恒例の宝投げは納涼祭最初のイベントで、子供と大人に分かれて行われた。200個ずつが投げられ、宝の袋に人々が群がっていた。

遊びブースでは射的や輪投げ、水ヨーヨーや釣り等の体を動かせる出し物が準備され、家族連れの参加が多く盛況であった。また、焼



何色が釣れるかな?

今回は安全上締めめの打ち上げ花火は行われなかったが、光るアイテムのネオンブレスが子供たちの心を掴み、雨で濡れた夜道を彩りよく照らしていた。恒例づくしの納涼祭ではあったが、地域の人々の元気な顔を見られる機会となった。

上がりを見せると、その音に引き寄せられる様に人が集まり、会場はあつという間に大勢の人で埋め尽くされた。小学校PTA主催のスイカ割りとゲームコーナーも設けられ、友達と楽しむ子供たちの笑顔で溢れていた。室内では恒例の囲碁ボール大会が行われ、飛び入り参加もあり非常に盛り

た人には豪華賞品が贈られた。猛暑の中、参加者の熱中症も心配されたが、無事故で終わり、楽しい1日となった。



仲間の声援を力にスイカ割り全集中

本気になって災害に備える

毛賀区

7月30日、毛賀分館主催の講演会が毛賀公民館で「防災」をテーマに行われた。平成28年の熊本地震、令和6年の能登半島地震は震度7.その破壊的なすさまじさは映像で見ることができ、被災者の話を聞くこともできる。南海トラフ地震が発生した時、飯田市の予想震度は6強と予想されてい



る。発生した時どんなことが予想されるのか、どんな備えをしておく必要があるのかを考えるきっかけになった。講師は日本防災士会長野支部南信地区ブロック長の上野真由さん。「能登半島地震の支援活動からお伝えしたい備えの大切さ」という演題で、自身の避難所支援の体験を踏まえて「津波の心配はないけれど、家屋の倒壊やライフラインの寸断は考えられる。食料品は普段使っているものを少し多めに買っておく。水や食べ物があってもトイレが使えないとそこにはいられなくなる。4人家族なら、4人×1日の利用回数×7日分の携帯トイレが必要になる」などの話があった。

参加者からは「防災トイレの詳しい使い方を知ることができ、充実した講演会だった」「実物、実演がとても分かりやすく参考になった。やれることから準備していきたい」などの感想が寄せられた。

清水区

8月10日、愛知県から劇団むうの2人が清水コミュニティ消防センターに来館。

むかしばなし「こだぬきのおんがえし」「さるかに」のオリジナルをそれぞれ上演し、約60人が人形劇を楽しんだ。



毛賀区

毛賀区民会館の公演には「OVERHEAT THE RAINBOW」と「人形劇団ポコペン」が登場し、約80人の観客を大いに楽しませた。どちらの劇団員もあつという間に子供たちの心を



むうワールドに没入

「さるかに」は、かにの子とさるを懲らしめる、栗、蜂、ふん、白の助太刀4者の効果音を、来場者の子供たちも大きな声を上げて一緒に楽しんだ。

つかみ、子供たちの笑顔が弾けていた。公式マスコットの「ぼお」も駆けつけてくれ、子供たちは大喜び。

「どうして人形劇を始めたのですか?」「タヌキが出てくるのはなぜですか?」など、子供たちからの質問に会場はいっそう温かい雰囲気になりました。

策定から5年の中間評価を実施 令和7年度松尾地区基本構想特別委員会

8月29日、松尾地区の未来像を定める「令和7年度第1回松尾地区基本構想特別委員会」が開催された。

今回は、令和2年に基本構想を策定した当時の委員と、現在その実現を担うまちづくり委員会が、5年間の活動について中間評価した。

冒頭のあいさつで、鋤柄富男会長はこの5年間の取組やコロナ禍での活動制限があったことを説明し、中山明基本構想特別委員長はまちづくり委員会の取組に対して労をねぎらった。

各部の報告では、活動の進捗と同時に複数の課題が挙げられた。地域振興部は祭りや運動会で地域愛を育む一方、若年層の参加促進が課題。地域コミュニティ部はホームページ作成などを実施し、地域安全部は防災意識向上に注力している。また、環境衛生部は環境美化活動を継続するもの、参加者の高齢化を指摘

健康福祉部は高齢者や子育て支援に取り組み一方で、基本構想の周知不足が課題であると報告した。今後はこれらの課題を踏まえ、数値で表せるものは統計データとして示す、災害危険区域マップの更新、若年層の参加促進策の検討、基本構想に基づく取組の定期的な振り返り等々の取組を推進することが報告された。

8月31日、飯田市総合防災訓練が行われた。松尾地区では自主防災会が松尾地区拠点班や日赤奉仕団松尾分団などと連携し訓練を実施した。午前8時に震度5強、午前8時30分には震度6強の地震発生を想定し、様々な訓練を行った。

今回の訓練では、新しい試みとして信南交通の協力を得て、観光バスを一時避難場所として活用する訓練が行われた。この観光バスはトイレやパウダールームが完備され、カーテンを閉めればプライバシーも確保できるため、特に女性や高齢者への配慮につながる新しい取り組みである。当日

は、バス車両を女性専用スペースとしてどのように活用できるかを、女性部員が中心となって体験した。また、避難所の設営訓練では、仮設トイレの組み立てに挑戦した。マンホールに設置するタイプや、身障者利用可能なタイプなどがある中、今回は身障者対応のトイレを組み立てた。初めての経験だったため、組み立てに30分ほどかかったが、無事に完成させることができた。

このほかにも、各区での安否確認訓練や、赤十字奉仕団による炊き出し訓練も実施された。参加者は、いざという時に備え、自身の安全確保や地域での助け合い、情報伝達の方法などを確認した。

新井区

いい大人形劇フェスタ新井地区公演が、8月9日に開催された。

芸歴40年の手風琴さんによるパネルシアターでは「レンズの向こう側」「ダンボールマン」と題して子供たちに問いかけるかたちで、来場者との一体感が生まれた。

2024年F-1腹話術グランプリで優勝の、腹話術カズちゃんは「カズちゃんのワクワクト腹話術ショー」と題して、相手のチャットキーとしーちゃんとのコミカルなやり取りで会場を沸かせた。ショーの間には、熱中症対策で分館がかき氷やジュースを用意して振る舞った。

開演前には、人形劇のマスコット「ぼお」が応援に来て、子供たちとの握手や、家族の写真撮影に応じ、帰り際には、ショーに



緑中生作製顔出しパネルでハイチーズ!

出演したチャットキーとダンボールマンが玄関で来場者を見送った。近隣地区から毎年会場を変えて鑑賞に来ている人や、世界的に有名ないい大人形劇フェスタを楽しむに県外から来たファンなど、この日の来場者は100人を超えた。

上溝区



ダンボールマン!

8月9日、上溝集会所でいい大人形劇フェスタ上溝公演が開催され、80人余りの観客が来場した。劇団みちのくが「手あそび」と「3びきのこぶたのほんとうのおはなし」を上演した。

進行役の軽妙なおしゃべりにあわせて、舞台上で色々な形に組み合わせる表現する「手あそび」が演じられ、子供たちを舞台に引き付けていた。

次に「3びきのこぶたのほんとうのおはなし」が上演され、よく知られた物語の大胆なアレンジに子供たちは歓声を上げながら楽しんでいった。

その後、劇人とのふれあい時間が設けられ、人形の仕組みや舞台裏の様子などを劇人の方々に興味深そうに教わっていた。

上演終了後には劇団員と運営スタッフによる交流会が行われ、南信州の食材を使ったお弁当を食べながら歓談をした。

上溝区では、7月24日から8月8日まで、長期休暇中の居場所づくり事業「夏休み!ちよつと公民館で過ごしてみませんか?」が松尾公民館で行われ、児童21人が参加した。期間中2日間はおもい食堂も開かれた。

6月15日に鳩ヶ嶺八幡宮で、消防団非常招集訓練の終了後に、消防団OBによる松尾防火隊の発足式が行われた。

防火隊は消火活動に直接参加はしないが、交通規制など、団員が少なくなつた消防団の支援を目的とする。隊員は松尾防火隊と名前が入ったヘルメットとベストを着用して活動をする。

9月6日、松尾公民館で文化委員会主催の落語会「まつお椒山(しょうざん)寄席」が開催された。約140人の来場者が立川志の八師匠、志の太郎さん、生九郎さんによる生の落語を楽しんだ。

9月6日、松尾公民館で文化委員会主催の落語会「まつお椒山(しょうざん)寄席」が開催された。約140人の来場者が立川志の八師匠、志の太郎さん、生九郎さんによる生の落語を楽しんだ。

令和5年度還暦の会から松尾小学校に贈られた「児童作品保管設備費」で機材を購入し、小学校に残されていた明治43年から昭和14年までの絵画がデジタル保管できるようになった。

松尾地区HPをご覧ください! 松尾図書館 (公民館2階) 開館日 水曜 午後1~5時 土曜 午前10~午後5時 日曜 午後1~5時 本のリクエストも受けつけています。

松尾図書館 (公民館2階) 開館日 水曜 午後1~5時 土曜 午前10~午後5時 日曜 午後1~5時 本のリクエストも受けつけています。

松尾地区HPをご覧ください! QRコード 随時更新しています!

親子映画観賞会 7月5日、240人の親子が松尾公民館ホールで「映画トムとジェリー」を楽しんだ。上映前後には、緑ヶ丘中学校のボランティア4名が企画運営することも緑日等の催しが行われた。

夏休みの居場所づくり事業 7月24日から8月8日まで、長期休暇中の居場所づくり事業「夏休み!ちよつと公民館で過ごしてみませんか?」が松尾公民館で行われ、児童21人が参加した。期間中2日間はおもい食堂も開かれた。

松尾サイエンススクール 9月6日、松尾公民館で松尾サイエンススクールが開催された。30人がサイエンスショーや偏光板のステンドグラスづくりを楽しんだ。

まつお椒山寄席 9月6日、松尾公民館で文化委員会主催の落語会「まつお椒山(しょうざん)寄席」が開催された。約140人の来場者が立川志の八師匠、志の太郎さん、生九郎さんによる生の落語を楽しんだ。

ふれあいひろば 親子映画観賞会 7月5日、240人の親子が松尾公民館ホールで「映画トムとジェリー」を楽しんだ。上映前後には、緑ヶ丘中学校のボランティア4名が企画運営することも緑日等の催しが行われた。